（様式２-１）

**【新ビジネスモデル展開促進補助金事務局提出用】**

経営計画書

名　称：

＜応募者の概要＞

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）名称（商号または屋号） |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人番号（13桁）※１ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 自社ホームページのＵＲＬ（ホームページが無い場合は「なし」と記載） |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 主たる業種 | **【以下のいずれか一つを選択してください】**1. （　　　）製造業、建設業、運輸業
2. （　　　）卸売業
3. （　　　）サービス業
4. （　　　）小売業（飲食業を含む）
5. （　　　）ソフトウェア業又は情報処理サービス業
6. （　　　）旅館業
7. （　　　）その他の業種（上記以外）
 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 常時使用する従業員数※２ | 人 | ＊常時使用する従業員がいなければ、「０人」と記入してください。＊資本金又は従業員数が中小・小規模事業者の定義を満たさなければ申請できません。 |
| 資本金額（会社以外は記載不要） | 万　　　円 | 設立年月日（西暦）※３ | 年　　月　　日 |
| 連絡担当者 | （フリガナ）氏名 |  | 役職 |  |
| 住所 | （〒　　－　　　） |
| 電話番号 |  | 携帯電話番号 |  |
| FAX番号 |  | E-mailアドレス |  |

【様式２-１作成の留意事項】

※１　法人の場合は、法人番号を記載してください。個人事業主は「なし」と明記してください。マイナンバー（個人番号（12桁））は記載しないでください。

※２　常時使用する従業員に含めるか否かの判断に迷った場合は、地域の商工会・商工会議所にご相談いただけます。

※３　「設立年月日」は、創業後に組織変更（例：個人事業者から株式会社化、有限会社から株式会社化）された場合は、現在の組織体の設立年月日（例：個人事業者から株式会社化した場合は、株式会社としての設立年月日）を記載してください。

＊個人事業者で設立した「日」が不明の場合は、空欄のままで構いません（年月までは必ず記載してください）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **＜全ての事業者が対象＞**コロナ対応新ビジネスモデル補助金の採択・交付決定を受け、補助事業を実施した事業者か否か。 | □実施した | □実施していない |
| **＜全ての事業者が対象＞**補助対象事業として取り組むものが、「射幸心をそそるおそれがある、または公序良俗を害するおそれがある」事業か否か。 | □該当する（該当する場合は応募できません） | □該当しない |

**＜計画の内容（社会経済環境の変化を乗り越えるための取組）＞**

**※計画の内容は、５枚程度までとします。**

|  |
| --- |
| １．事業概要（自社の概要や市場動向、経営方針等を記載してください） |
| ２．社会経済環境変化（技術革新の進展、SDGs・脱炭素への対応、国際情勢の不確実性、人口減少、自然災害、感染症の拡大等）による影響（自社を取り巻く具体的な社会経済環境変化と影響について記載してください） |
| ３．今回の申請計画で取り組む事業名【必須記入】（30文字以内で記入すること） |
| ４．今回の申請計画で取り組む内容（上記1～3を踏まえて、取組内容を具体的に記載してください） |
| ５．社会経済環境変化を乗り越えるための取組の中で、本補助金が経営上にもたらす効果（定量的な事業効果等を含めて記載してください） |

※経営計画等の作成にあたっては、必要に応じ、商工会・商工会議所と相談し、助言指導を得ながら進めることができます。

※採択時に、「事業者名称」および「補助事業で行う事業名」等が一般公表されます。

**＜支出経費の明細等＞**

（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | 内容・必要理由 | 経費内訳（単価×回数） | 補助対象経費（税抜・税込） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| （１）補助対象経費合計 |  |
| （２）補助金交付申請額　（１）×補助率2/3以内（円未満切捨て） |  |

※経費区分には、「①機械装置等費」から「⑬外注費」までの各費目を記入してください。

※補助対象経費の消費税（税抜・税込）区分については、参考資料を参照のこと。

※（２）の下限は５０万円、上限は１００万円。

**＜補助対象経費の調達一覧＞**　　　　　**＜「２．補助金」相当額の手当方法＞**(※３)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 金額（円） | 資金調達先 |  | 区　分 | 金額(円) | 資金調達先 |
| 1.自己資金 |  |  | 2-1.自己資金 |  |  |
| 2.新ビジネスモデル展開促進補助金（※１） |  |  | 2-2.金融機関からの借入金 |  |  |
| 3.金融機関からの借入金 |  |  | 2-3.その他 |  |  |
| 4.その他 |  |  |  |  |  |
| 5.合計額（※２） |  |  |  |

※１　補助金額は、支出経費の明細等（２）補助金交付申請額と一致させること。

※２　合計額は、支出経費の明細等（１）補助対象経費合計と一致させること。

※３　補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、ご記入ください。